

令和8年度 シラバス

教科	芸術	科目	水墨画入門	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	なし					
学習の到達目標	日本古来の伝統芸術について学び、墨を用いて基礎的な表現活動を行い、その技術を磨くことで、水墨画に関する基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 墨と水だけを使った制作活動について理解を深め、意図に応じて技法を使い分けることができる。 (2) 筆を扱った自在な線や墨の濃淡、筆あとや余白など、様々な技法を用いたり、構図を考えたりしながら表現することができる。 (3) 主体的に水墨画の制作活動に取り組むことで、水墨画に親しむとともに、感性を高め、伝統文化を継承しようとする態度を身に付ける。					
評価の観点	a. 知識・技能		b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度	
	技法や構図などの視点で作品を捉えることができる。 表現の意図に応じて、墨をつくることや筆の特性を生かした技法を使うことができる。		表現の意図を考えて作品を制作している。 技法や構図の目的などを基に、想像力を働かせて鑑賞し、自分の思いを表現することができる。		水墨画に関心をもち、目的に応じた作品制作に意欲的に取り組んでいる。 教師の指導・支援をよく受け、それに応じて作品制作を行っている。	
評価の方法	授業への参加状況、提出作品により評価する。					
	単元			主な学習内容		
前期	1 水墨画の由来と基礎技法の学習			・北画や南画における中国水墨画と日本の水墨画の関係、日本人が開拓した今日の水墨画を学習する。 ・表現したい濃さに応じた墨の作り方や筆の特性を生かした技法を学習する。		
	2 基礎技法の研究と四君子の学習			・四君子（蘭・竹・梅・菊）の描写技術を学習し、作品を制作する。		
	3 落款の制作			・作品に押す落款の意義を学び、制作する。		
後期	1 作品制作及び鑑賞（モチーフ）			・樹木・花・岩・水などを基本モチーフとした水墨画を鑑賞し、作品制作を行う。		
	2 作品制作及び鑑賞（風景画）			・手本に従って描写方法を学び取り、作品にみられる多くの技術を習得して、作品制作を行う。		
	3 作品制作（自由題）			・習得した技術をもとに、自分が表現したいものを描く。		
	4 展示用作品の制作と裏打ち			・文化祭で展示する作品を制作し、展示するための裏打ちを行う。		